



刊夕 日七十二月三

常警論壇
最後の努力 (二)
 法學博士 上杉慎吉氏談
 今や反貴族院の風潮は漸次
 國論となりて浸潤し甚だし
 きものに至つては貴族院廢
 止を叫ぶものがある。この
 院側としてもこの際慎重な
 態度を以て時局に善處せね
 ばならぬ。勿論從來の如き傲
 慢不遜の態度も改めねばな
 らぬ。故に這回の貴草普選の
 二重大問題に對しても相當
 の考慮を促したい。一方政府
 に於ても國家の法典改正に
 關する重大案件なるが故に
 慎重なる態度を以つて徒ら

に一時を糊塗するが如き妥
 協諒解に依つて決すべきで
 なき事を考へて貰ひたい。今
 政府の缺點を見るに一個の
 法案を造るにも常に他より
 修正を加へられる餘地を與
 へる所を見るに聊か加藤首
 相の所謂慎重審議の言辭を
 疑ふさらに遺憾とする點は
 何事を決するにも元老に取
 絶る癖があるが政黨内閣の
 態度としては餘りに不甲斐
 なさを感ずるのである。加藤
 首相としては知らざる事か
 も知れぬが憲政會初め與黨
 三派は總選舉當時元老は無
 用の長物なりと痛罵したの
 であるが一度廟堂に入れば
 再び元老詣りをする醜惡を

愈々入學の期が迫り
 先づ御用意の第一として
一 學生カバン
 男子用 五十五錢位
 女子用 ヨリ三圓位
一 學生帽
 慶應形 其他種々
 ルビー形 其他種々
 澤山取揃へました
ツルヤ商店
 電一四〇



獨逸 高級眼鏡
 (メニスカス) 眼鏡
 下皆さんがお好みにな
 るのです。答掛け心地
 が良く、眼や脳へは絶
 對弊害がなく晴々する
 からです。平町一丁目
常盤屋時計店
 電話三三三九番
 弊店眼鏡部は各國品多敷取揃へ
 電力應用で速時調整します

渡邊藥局
 品藥料染 劑調方處
 目一三町平
郎五政邊渡
 (向局便郵)

牛ト食糧問題
 米食ノ大和民族ハ食糧難ニ陷ル
 食糧ヲ水田ニノミ求ムルハ今ヤ不可ナリ
 範ヲ陸田國ニ探シ且ツ盛ンニ牛ヲ養ヘ
 而シテ肉ト乳トヲ食用セヨ
 肉ハ草ニ在リ藁ヲニ在リ
牛二九八 三一三三屋
 電話三二三番

期待せる名畫 續々上映
 神田伯龍口演次郎長外傳
 自及四、叫喚起る、仇敵を屠
 らんとする、二俠淡阿修羅と猛り
 て安部川の波に鮮血進る
阿部川の血煙 七巻
 主演 兒島三郎 森野五郎
 寫實 歌舞伎座實況 二巻
 大正十四年四月四日盛大なる開
 業式の實況より社長大谷竹次郎
 及各名優俳優の挨拶
 コメッド 砂畫社作
喜劇 飛び出した二巻
 蒲田作品
喜劇 仙人 五巻
 原名秀れたる者(勝つ)
活劇 鐵ケン 第一 六巻
 二十七日ヨリ

時代劇 人魚の精
 松枝鶴子・片岡仁右衛門・嵐三主演
 津守玉枝・嵐徳・阪本豊昇助演
 白熱的好評を受けたる
 「るつぼの中に」の姉妹篇
 海上大活劇我が大和男子の意氣を見よ
民族の血
 瀨川銀潮・鈴木信子・濱田格・尾崎静子
 小島洋々大演
 東洋權利金拾萬圓を投せし大名畫
 原名「天地の怒り」
大襲來
 疾風迅雷男性の雄さけび
 其他喜劇 帝キネ直營
有聲座
 前後篇 十八卷
 六四四電

大音堂
 平町四丁目
 親 美術諸看板
 縮子金銀文字
 建築ペンキ塗
 其他各種
 日本勸業債券通信社
 福島共榮無盡會社
外交員募集 大谷保太郎
 警城中町南町 電話三四四番
 他二區選法アリ希望者ハ履歴書
 持参ノ事外交員ハ自宅ヨリ直接
 外交ニ當ルモ差支ナシ

米松 (セメント) グリウ
 建物請負 一般木村業
磐城建物株式
 平町五丁目 (電話五一八番)

愛讀者諸君に告ぐ

日頃の御厚情に報ゆる微志

愛讀者諸君の御家庭に本年始めて小學校に入學なさる坊ちゃん嬢ちゃんが御座います。たなればお祝の印として來月の本紙を無代で差上げますからどうぞ御遠慮なく本月分の集金に際し配達係りにお聞せを願ひます。

常磐毎日新聞社

結核は決して

不治の病ではない

早期発見が一番大切

けふ檜村平署長語る

既報本日は結核豫防日である。爲め平町には自働車數臺を走らせて宣傳ビラを撒布する外各方面で豫防上の通俗講演會を開く等極力結核に對する

警戒心

の涵起に務

めたが尙ほ檜村平署長は結核に關し次の如く語つた。『結核につき正常な理解を持つてゐる人が甚だ少ないやうだが結核の不治の病であるとしてたゞ恐れてゐるものがその一つ結核は恐ろしきもの危険なものであるが不治の病氣ではない早期に

病毒を

発見して適

當の手當を加へずすれば充分快癒するか病勢を停止することも出来る結核の原因と病理とが深く研究せられた今日決して遺傳するものでないといふことも明かである結核の恐ろしさは體質の羸弱若しくは

不衛生

の結果犯さ

れ「早期発見」を遅緩した

常磐片々

教員が學校荒し専門の兇賊となる、不思議はないさ教員ダツテ霞を食つて生きてる仙人ぢやない

田町豫選會で水道問題の利權派排撃の煙火を揚ぐ各町舉つて痛快を叫ぶ

斯くてこそ町政は革新さる

本紙に利權派と書かれて怒つた人間があるやうな

怒つた處を見るも利權派を自認して居らうぢい

てこれを乾かすべく數回沿道の民家に立寄つたので豫定の時間より遅れ夜高萩に入つた、同地は川又選手の郷里の事とて二十六日朝出發間際に有志の歓迎を受け終點なる平町に午後六時に至つて無事到着したが一同疲勞の色見えず頗る元氣である因に大越選手は石城郡内郷村出身にて磐城中學卒業生である

郡下の學校を荒した

郡山市を徘徊中捕はる

昨年中石城郡飯野村小學校を荒した學校専門の兇賊阿部連次郎(三)は廿六日午後一時郡山を徘徊中同署巡査に逮捕され嚴重取調中である

が連次郎は元小學校教員であつて學校の事情を精通して居るのを奇貨として學校専門の賊を働くに至つたものにて東京方面にも被害がある

錦鞭氏送別

琵琶會盛況

既報平手錦鞭氏の送別琵琶大會は昨日午後六時より有聲座にて開催、満場立錫の餘地なき盛況にて同氏の門弟五十餘名が夫々得意の曲目を彈奏餘興の琵琶劇『橘大隊長』も頗る好評を博し最後に錦鞭氏が『山科の別』を名残りに彈奏し大喝采を博した因に同門下中の逸足

四選手到着

昨日平町に

日本體育會主催東京平間百七十哩マラソン川又廣、富田誠、秋山春五、大越又一の四選手及び附添市毛勝利氏の一行五名は既報の如く廿五日午前八時水戸驛前を出發したが途中雨に逢ひし爲め夏シャツ一枚の扮装と



妊娠中の婦人へ(下)

妊婦の心得べき事項を左に書いて見ました

一、肉類のみをあまり多く食べずに新しい野

病身の子が

轉げ込んで

石城郡内郷村大字宮字金坂飲食店營業石川常次郎長男常雄(六)は廿六日午前十一時半頃病身の爲め爐端で火に當つて居た際爐の中に轉げ込み顔面や頭部に大火傷を負へ生命危篤であると

巨大な怪魚

薄磯で捕獲

石城郡豊間村大字薄磯漁夫鈴木久助は廿七日午前六時頃同村海岸にて長さ三間半の廻り三間位な鯨に似た大魚が淺瀬でモガイて居るのを發見し漁夫數十名と共に漸く捕獲したが何んぞ云ふ魚か判明しないので小名濱水産試験場に急報し鑑定を乞ふたと

新刊紹介

◇郷土文化(四月號) 郷賢と聖何處に在りや(鈴木辰三郎)日本の神話に現れたる神人精神の活動に就て(櫻井賢文)郷土を把持する苦悶(諸根樟二)農人村教育の眞義(伊坂眞正)眞の農村教育(中山雅司)郷土人解放としての地方藝術(諸根英一)石器時代の磐城の文化(根本忠孝)大越中佐に就きて(植竹源太郎)石城川柳小史(渡邊一角)その他(發行所平町白銀町郷土文化會(定價廿錢))

地ト一コ

はみ好色

輕やかな 氣分の散 歩にも訪 問をする にも亦雨 の日も外 出にも常に婦人の氣持を落ちつかせ稍もすると亂れ勝ちの姿勢をしつくりと引しめるに春先は殊にコートが必要を感じさせられるが此頃のコート地はシャルム

若い人にも年輩の人にも好まれてゐる何故かと言ふとシャルムは比較的値段が安いのが第一の原因でもあらうが(一)光らない事や皺の寄らぬ故

でもある、そして色は 藤色の 稍落ちついたのかエンジ色の澁い物、柄では成るべく目立たない例へば無地か或ひは菊模様や縹模様の織出した物浮織にした物等が一般に歓迎されてゐる、之に紋パレスの裏を繋糸は絹

横糸は 毛を使用し 仲々丈夫な布で之れに紋パレスの裏をつける、六十圓前後、紋パレスを表に使用しても仲々さつぱりした物が出来るが

植段は すつと安く 三十五圓前後だ、此外ギャバシンで二十圓前後、トル

馬に御褒美 共進會にて 石城郡産馬組合主催第一回産駒共進會は石城郡田人村に於て廿五六の兩日開催されたが受賞者左の如くである

谷龜吉(二等賞)花久多入 遠野村上遠野倉吾、山錦 上遠野村山野邊新吉、緑 田人村小宅幸松、岩藤入 遠野村上遠野重雄、光明 田人村大和田福次郎(三等賞) 龍王上遠野村蛭田 安平、外九名、(四等賞) 瀧山上遠野村瀨谷健藏外 十二名

海老澤元巡查が 慰勞金を贈らる 元平署在勤巡查海老澤安太郎氏は勤続廿六年其間職務

募集 文藝其他投稿 を募集します に精勵せるこの故を以つて 警察協會長若槻禮次郎氏から金百八十圓を贈呈さる